

de:code イベントアプリの作り方 ～Xamarin.Forms で作っています～

株式会社ジェーエムエーシステムズ
事業企画部 事業企画グループ
プロダクトスペシャリスト

川合 俊介

自己紹介

川合 俊介 (かわい しゅんすけ)



株式会社ジェーエムエーシステムズ
事業企画部 事業企画グループ
プロダクトスペシャリスト



[shunsuke.kawai.777](#)



[@ shunsuke_kawai](#)

de:code

セッションゴール

- Xamarin.Forms でアプリを作るのは
そんなに難しくない
- Xamarin.Forms で 開発する時 の方法 / テクニック
- Xamarin.Forms の向き不向きを感じてもらう
- Xamarin.Forms で開発したくなる

Agenda

- What's Xamarin
- Event app overview
- Xamarin.Forms UI
- Azure Mobile Engagement
- Native Binding

What's Xamarin

Xamarin とは

- C# によるクロスプラットフォーム開発環境。
- 2001 年に Mono プロジェクトとして発足し、後に Xamarin 社を設立、2016 年に Microsoft 社に買収された。
- 現在は Visual Studio に同梱され、OSS 化、ライセンスの無料化がされている。

⇒Xamarin(ザマリン) とはなんぞや

- <http://qiita.com/amay077/items/38ee79b3e3e88cf751b9>

2つの開発手法

Traditional Xamarin approach

(Xamarin Native)

ロジックのみ共通化

UI はネイティブで個別に作りこむ



iOS
C# UI

Android
C# UI

Windows
C# UI

Shared C# App Logic
(PCL)

Xamarin.Forms

ロジックと UI を共通化

UI は各プラットフォームの
同じ役割の UI が自動マッピング



Shared XAML/C# UI Code
(Xamarin.Forms)

Shared C# App Logic
(PCL)

2つの開発手法

Traditional Xamarin approach (Xamarin Native)

ロジックのみ共通化

UI はネイティブで個別に作りこむ



iOS
C# UI

Android
C# UI

Windows
C# UI

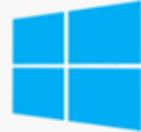
Shared C# App Logic
(PCL)

イベントアプリはこちらを採用

Xamarin.Forms

ロジックと UI を共通化

UI は各プラットフォームの
同じ役割の UI が自動マッピング

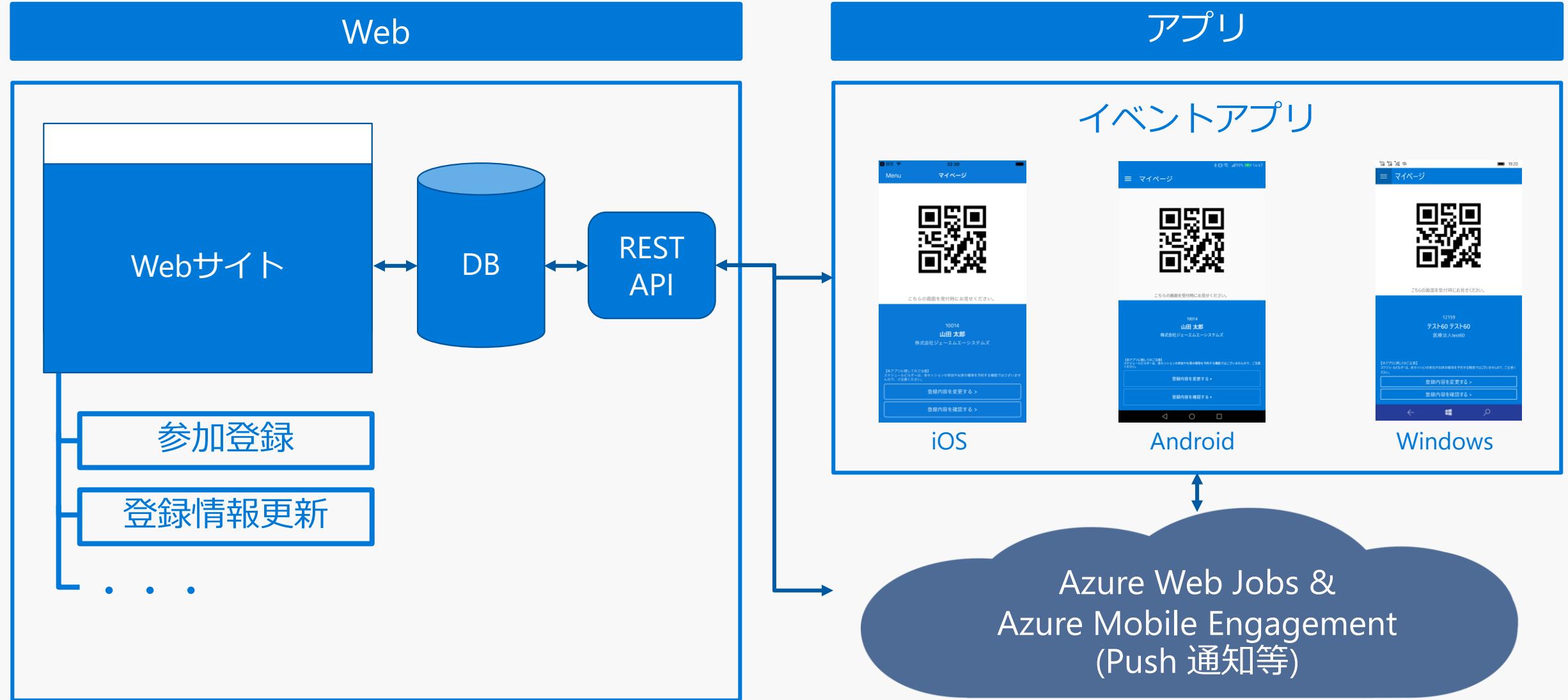


Shared XAML/C# UI Code
(Xamarin.Forms)

Shared C# App Logic
(PCL)

Event app overview

イベントアプリシステム構成



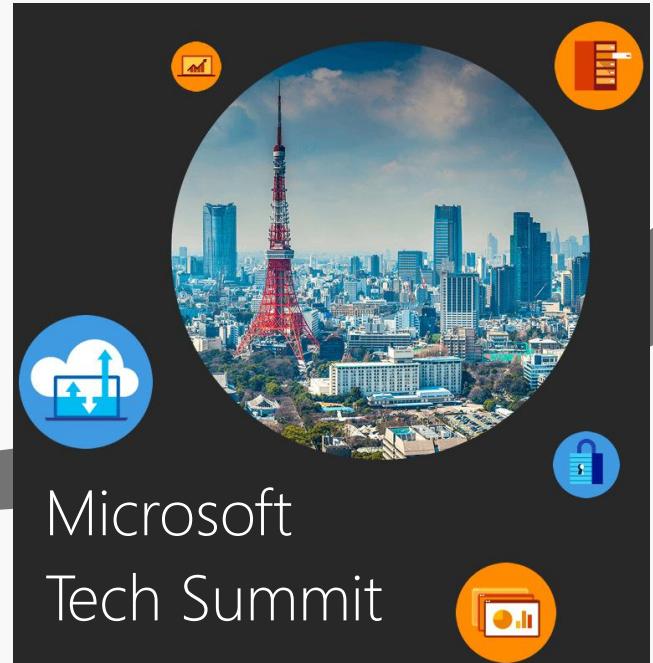
Xamarin.Forms を採用した理由

- アプリの特性上、複雑な UI、OS 独自の機能を使用する必要はあまりない なかつた
- 開発メンバーは Windows 系開発者で iOS/Android の開発は未経験
- スケジュールがタイトだったため、できる限り共通化したい

公式イベントアプリの歴史



2016/9/6-7



2016/11/1-2



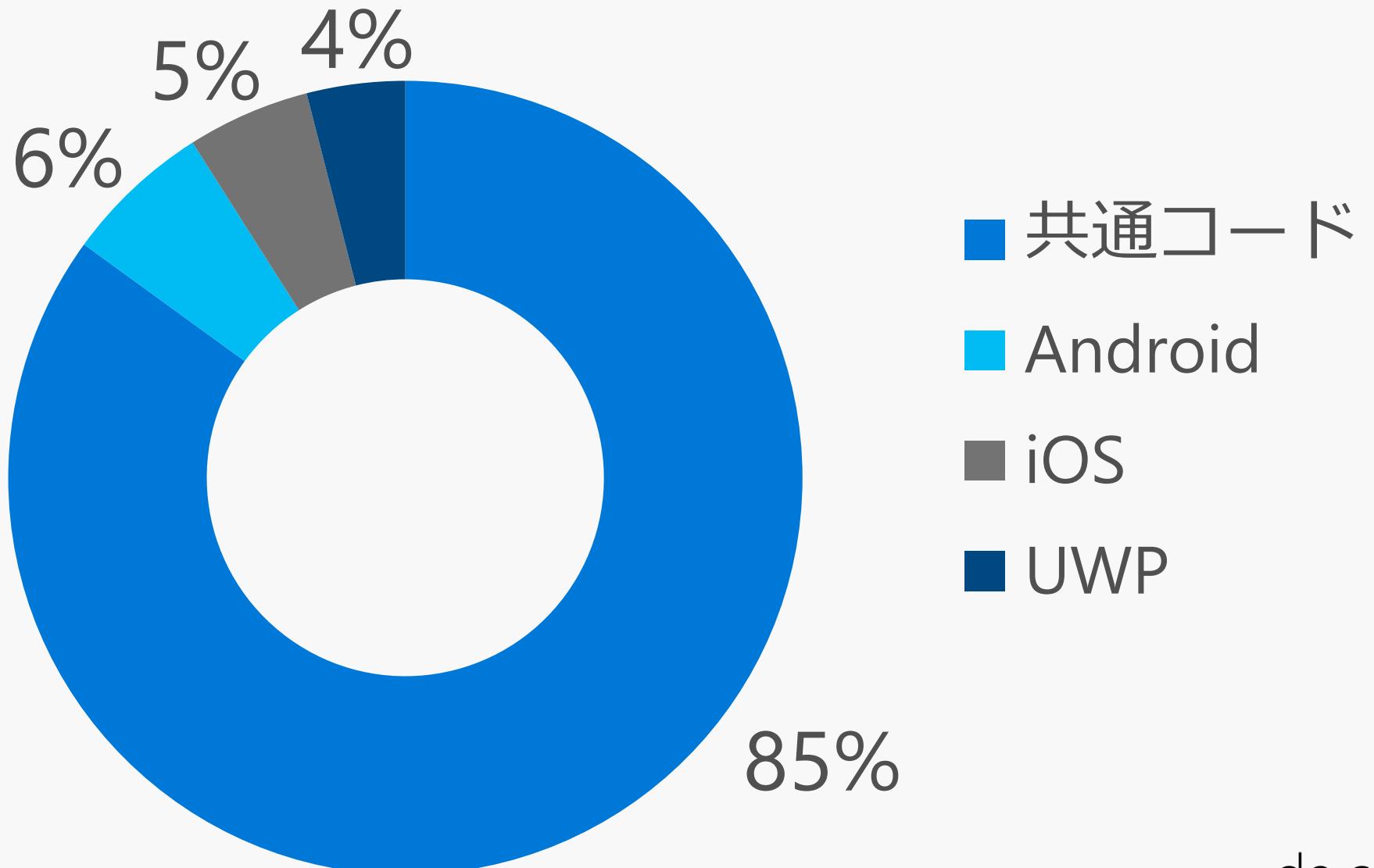
2017/5/23-24

de:code

イベントアプリ開発環境

- Windows 10 Ver.1703
- Visual Studio Enterprise 2017 Ver.15.2 (26430.6)
- Xamarin.Forms Ver.2.3.4.247
- Prism Unity App(Xamarin.Forms) Ver.6.3.0
 - ⇒ Prism for Xamarin.Forms入門
<http://www.nuits.jp/entry/2016/08/22/173858>

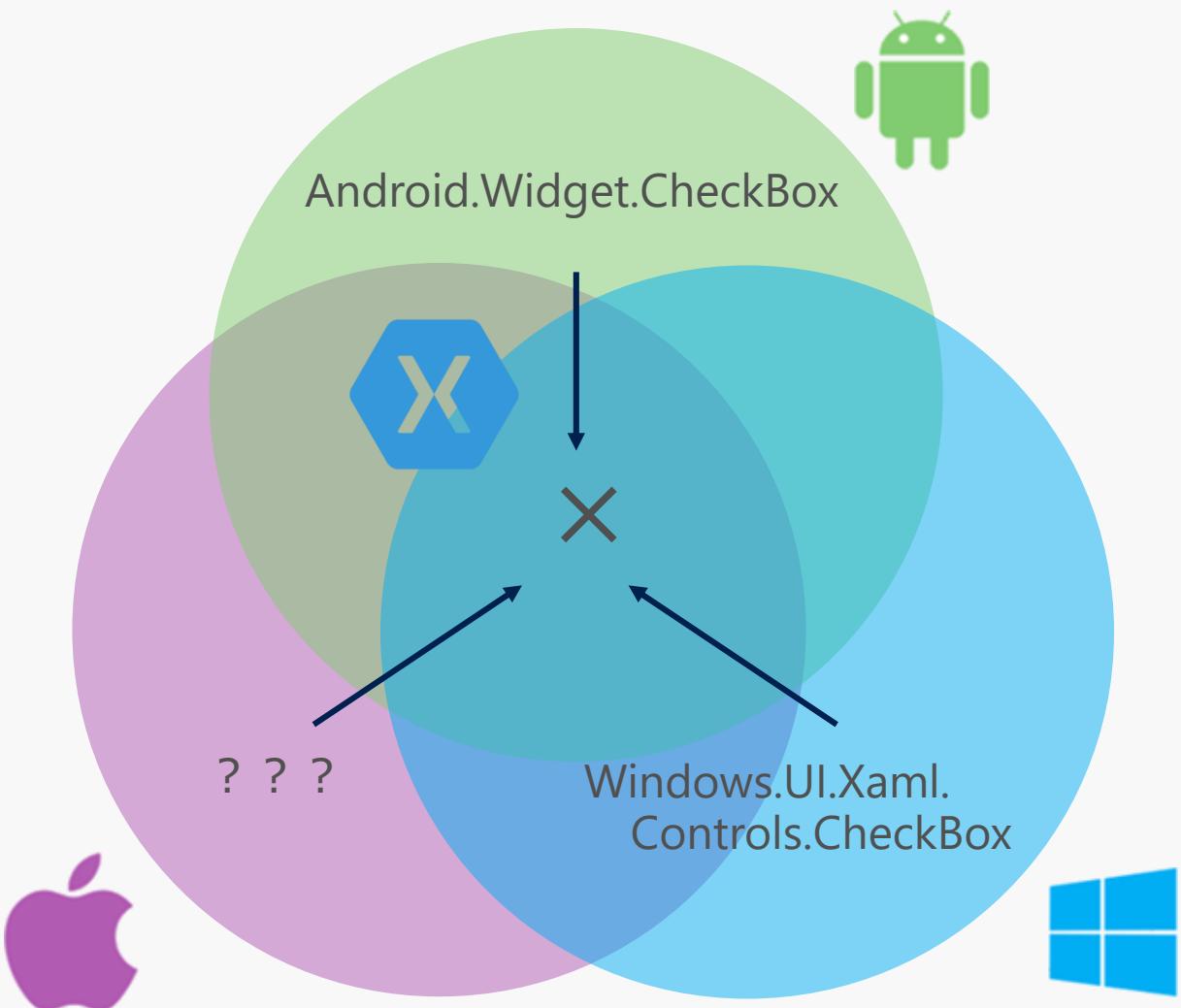
コード共有率



Xamarin.Forms UI

Xamarin.Forms の標準コントロール

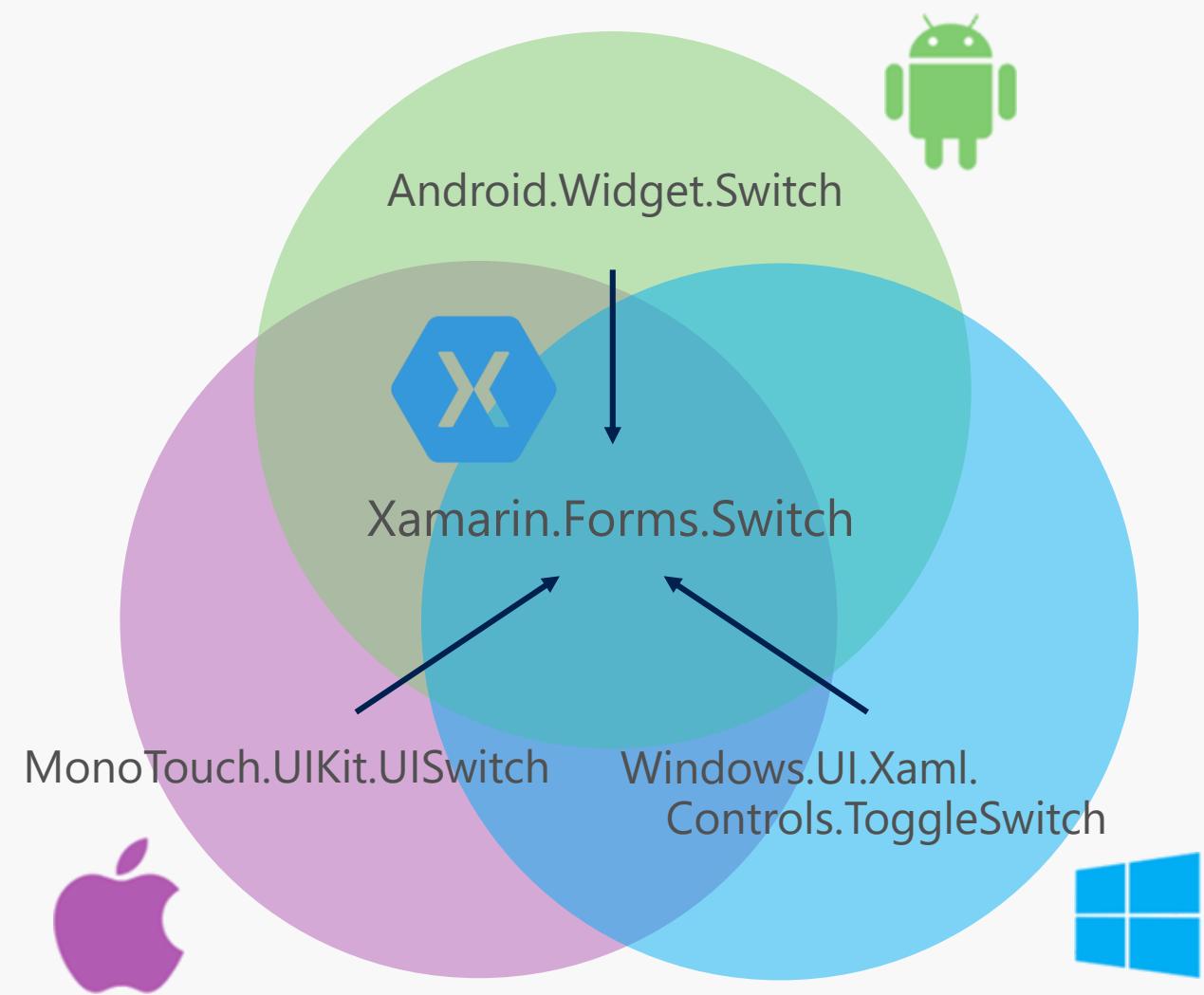
各プラットフォームの最大公約数



Check Box の場合
⇒iOS にはない
⇒Xamarin.Forms 標準
コントロールには
ない

じゃあどうするか？

⇒イベントアプリでは **Switch** で代替しました。



ほとんど標準コントロールで大丈夫！

そう思っていた時期が私にもありました。

UWP の ToggleSwitch



イベントアプリでは

```
[assembly: ExportRenderer(typeof(Switch),
typeof(ToggleSwitchRenderer))]
namespace JMAS.MicrosoftDeCode2017.UWP.Renderers
{
    public class ToggleSwitchRenderer : SwitchRenderer
    {
        protected override void
OnElementChanged(ElementChangedEventArgs<Switch> e)
        {
            base.OnElementChanged(e);
            if (Control != null)
            {
                Control.OnContent = string.Empty;
                Control.OffContent = string.Empty;
            }
        }
    }
}
```



見た目はカスタマイズが必要

Xamarin.Forms の各プラットフォーム向け カスタマイズ手法

イベントアプリで主に使用している手法

手法	概要
Custom Renderer	<ul style="list-style-type: none">・ コントロールのクラスに適用・ カスタムコントロール的
Effects	<ul style="list-style-type: none">・ コントロールのインスタンスに適用・ Custom Renderer より手軽に利用可能
DependencyService	<ul style="list-style-type: none">・ 各プラットフォーム固有の機能を利用
Behaviors	<ul style="list-style-type: none">・ 機能を添付

サンプルアプリ

https://github.com/shunsuke-kawai/decode2017_MW08
(<http://bit.ly/2rI6Lth>)

Github 上で decode2017_MW08 で検索が早い

Custom Renderer

複数行テキスト 枠線

CustomEditorRenderer.cs

```
[assembly: ExportRenderer(typeof(CustomEditor), typeof(CustomEditorRenderer))]
namespace decode2017_MW08.Droid.Renderers
{
    public class CustomEditorRenderer : EditorRenderer
    {
        protected override void OnElementChanged(ElementChangedEventArgs<Editor> e)
        {
            base.OnElementChanged(e);
            var el = (CustomEditor)this.Element;
            var nativeEditText = (global::Android.Widget.EditText)Control;

            var shape = new ShapeDrawable(new Android.Graphics.Drawables.Shapes.RectShape());
            shape.Paint.Color = el.BorderColor.ToAndroid();
            shape.Paint.setStyle(Paint.Style.Stroke);
            nativeEditText.Background = shape;
        }
    }
}
```

アンケート回答フリーテキスト

***** docomo 4:12 100% 17:17

アンケート アンケート

受講されたセッションの満足度についてお答えください

*Q1 セッション全体を通して

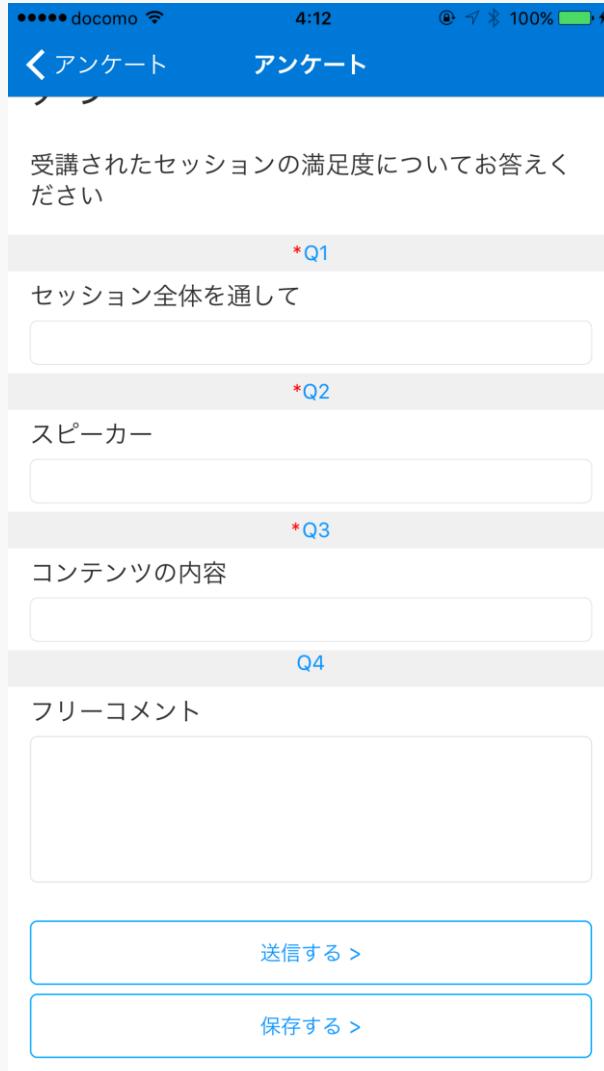
*Q2 スピーカー

*Q3 コンテンツの内容

Q4 フリーコメント

送信する >

保存する >



受講されたセッションの満足度についてお答えください

*Q1 セッション全体を通して

*Q2 スピーカー

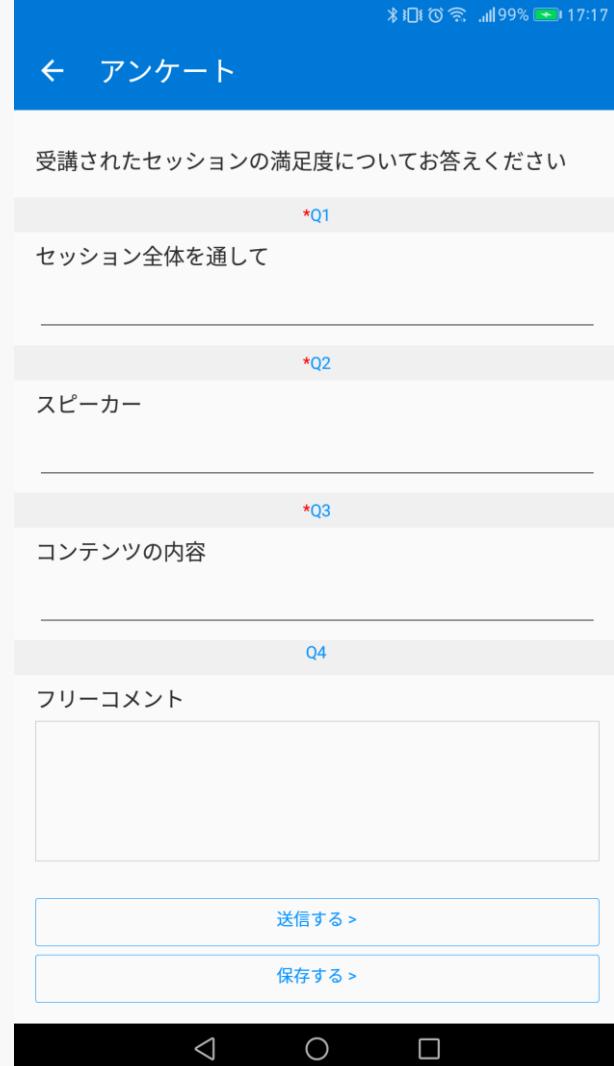
*Q3 コンテンツの内容

Q4 フリーコメント

送信する >

保存する >

◀ ○ □



受講されたセッションの満足度についてお答えください

*Q1 セッション全体を通して

*Q2 スピーカー

*Q3 コンテンツの内容

Q4 フリーコメント

送信する >

保存する >

← Windows Search



Custom Renderer

背景色透明 WebView

CustomWebViewRenderer.cs

```
[assembly: ExportRenderer(typeof(WebView), typeof(CustomWebViewRenderer))]
namespace decode2017_MW08.Droid.Renderers
{
    public class CustomWebViewRenderer : WebViewRenderer
    {
        protected override void OnElementChanged(ElementChangedEventArgs<WebView> e)
        {
            base.OnElementChanged(e);

            if (Element == null) return;

            Control.SetBackgroundColor(Element.BackgroundColor.ToAndroid());
            Control.ClearCache(true);
        }
    }
}
```

DependencyService

Local ファイル参照

HtmlPath_Droid.cs

```
public string GetHtmlPath()
{
    return "file:///android_asset/";
}
```

HtmlPath_iOS.cs

```
public string GetHtmlPath()
{
    return NSBundle.MainBundle.BundleUrl.ToString();
}
```

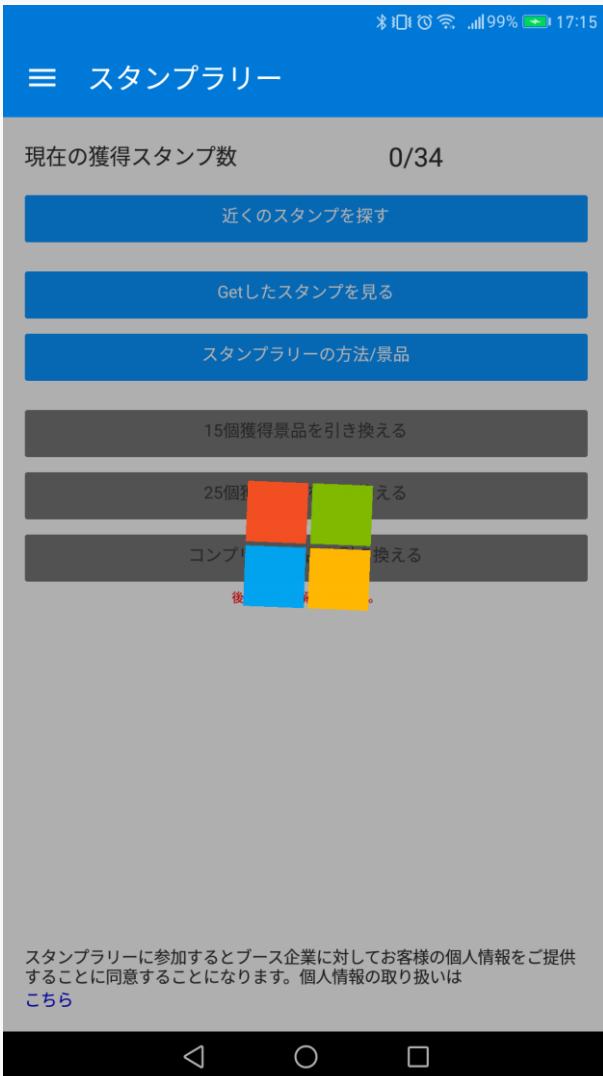
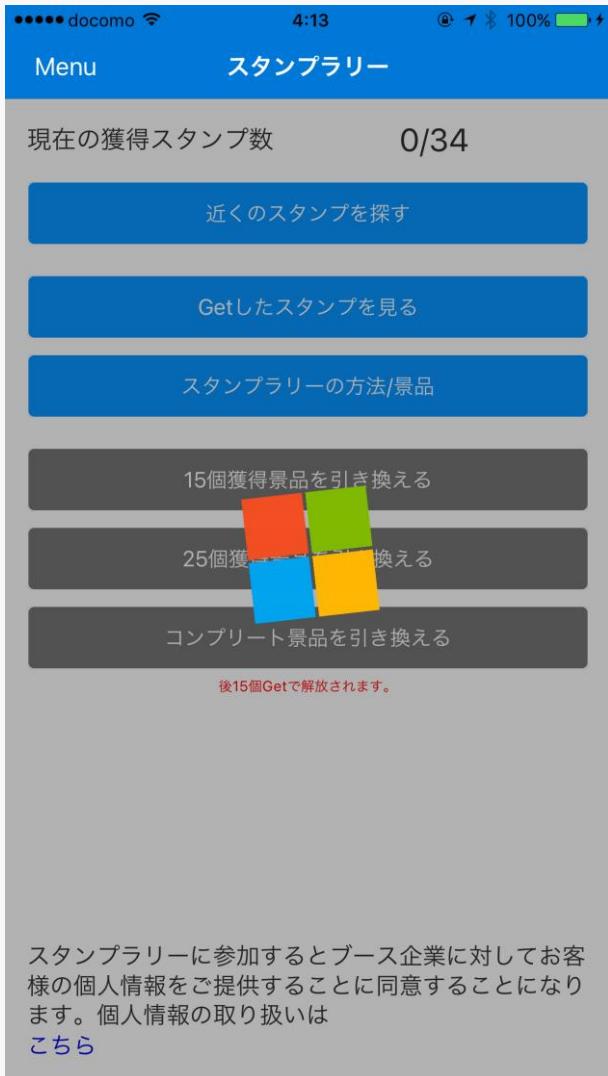
CustomIndicator.xaml.cs

```
public CustomIndicator()
{
    InitializeComponent();
    _htmlPath = DependencyService.Get<IHtmlPath>().GetHtmlPath() + "Sample_Spinner.html";
}
```

HtmlPath_UWP.cs

```
public string GetHtmlPath()
{
    return "ms-appx-web://";
}
```

Custom Loading



Effects

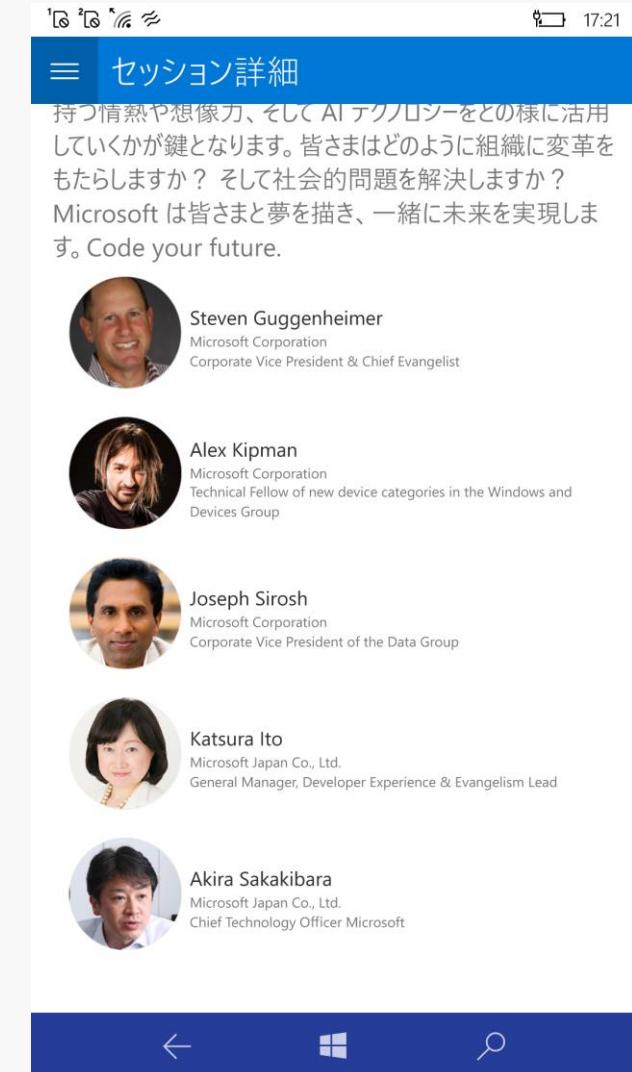
Highlight 無効 ListView

CustomIndicator.xaml.cs

```
[assembly: ResolutionGroupName("Xamarin")]
[assembly: ExportEffect(typeof(ListViewHasNoHighlightEffect), "ListViewHasNoHighlightEffect")]
namespace decode2017_MW08.Droid.Effects
{
    public class ListViewHasNoHighlightEffect : PlatformEffect
    {
        protected override void OnAttached()
        {
            var listView = Control as AbsListView;
            if (listView == null) return;
            listView.SetSelector(Resource.Drawable.NoHighlightViewCellBackground);
        }

        protected override void OnDetached()
        {
        }
    }
}
```

スピーカー一覧



Behaviors

指定アイテムまで自動スクロール ListView

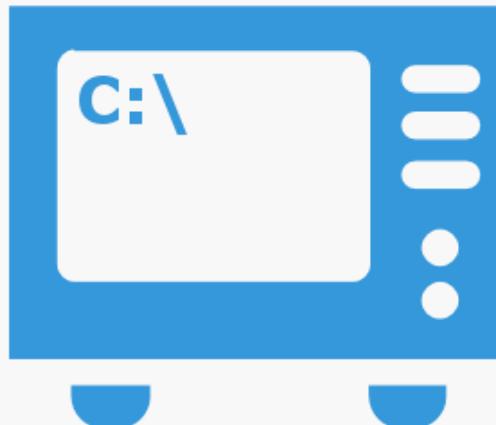
ScrollToBehavior.cs

```
public class ScrollToBehavior : BehaviorBase<ListView>
{
    public static readonly BindableProperty ScrollToItemProperty =
        BindableProperty.Create("ScrollToItem", typeof(object),
            typeof(ScrollToBehavior), null, BindingMode.TwoWay, null,
            ScrollToBehavior.OnScrollToItemPropertyChanged, null, null);

    private static void OnScrollToItemPropertyChanged(BindableObject bindable,
                                                    object oldValue, object newValue)
    {
        ~~略~~
    }
}
```

スタンプラー

- 下記リポジトリの nuget パッケージを使用
 - <https://github.com/microwavePC/Beahat>
 - iBeaconを簡単に検知すること、またその結果をトリガーとすることが可能



その他

- 凹むボタン
 - 単純なカスタムコントロールだが、画像をボタンにしたい時に便利

UWP Xamarin.Forms の 2.3.4.247 時点バグ

- Alt 押すと ListView の文字が消える
 - **UWP label disappeared in ListView if update from view model (resize window will show again)**
 - https://bugzilla.xamarin.com/show_bug.cgi?id=44973
- Release ビルドで OnPlatform が効かない
 - **OnPlatform doesn't work on UWP when compiling with .NET Native**
 - https://bugzilla.xamarin.com/show_bug.cgi?id=55636

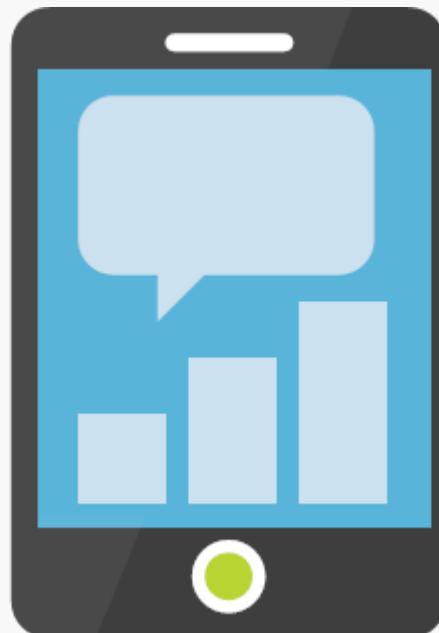
Xamarin.Forms UI

- 事前に検知できるケースはあまりない
 - 各プラットフォームで動作確認をして発覚するケースがほとんどだった
- 最初は難しそうと思っていたが、一回作ってみると仕組みが理解できる（ただし奥は深い）
- 各プラットフォームのネイティブの知識はやっぱり必要
 - 調べる時はネイティブ開発で調べてそれを C# に変換

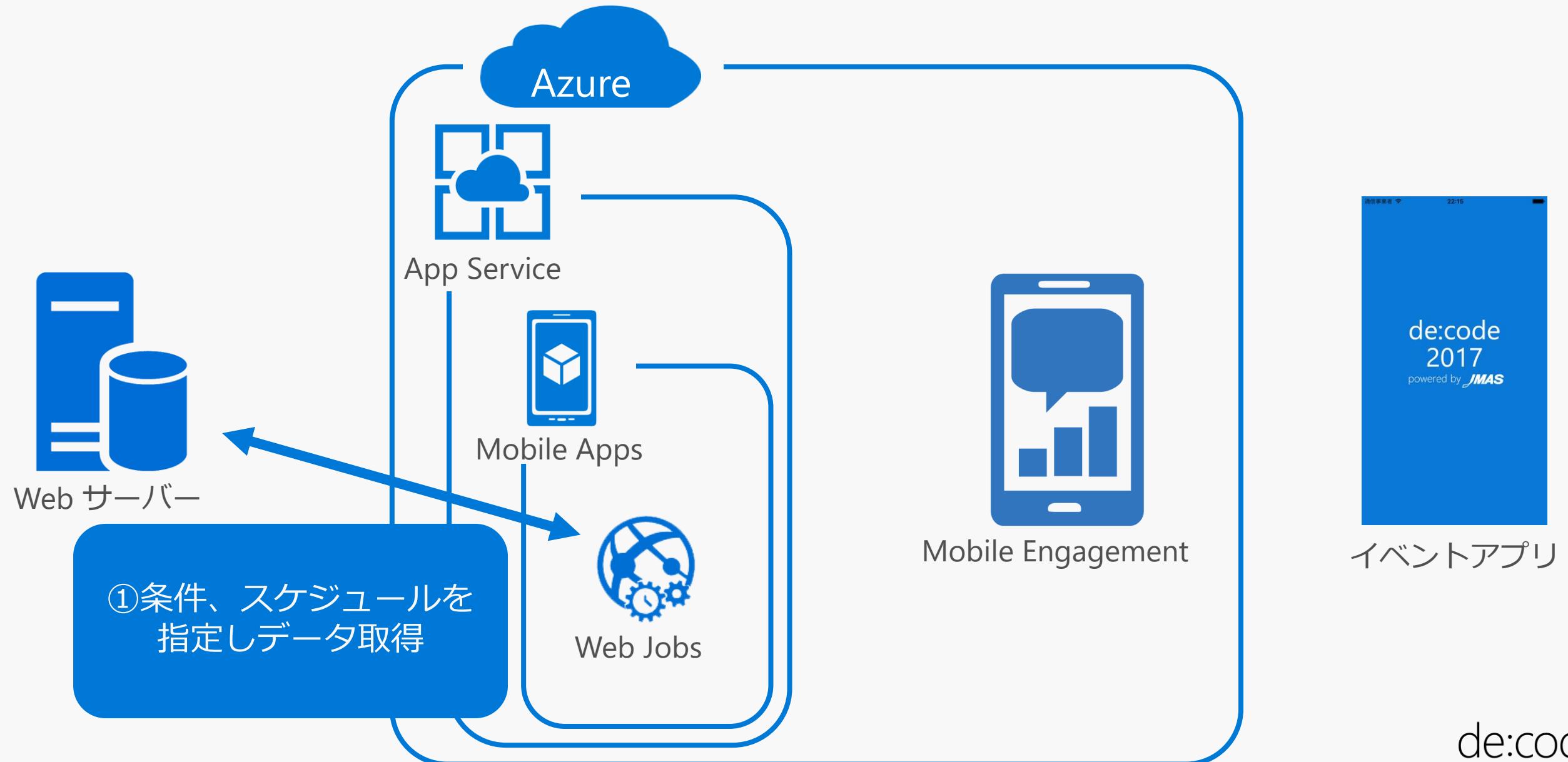
Azure Mobile Engagement

Azure Mobile Engagement

- ・データ主導のアプリ使用状況分析、リアルタイムでのユーザーのセグメント化、コンテキスト感知のプッシュ通知とアプリ内メッセージングが可能

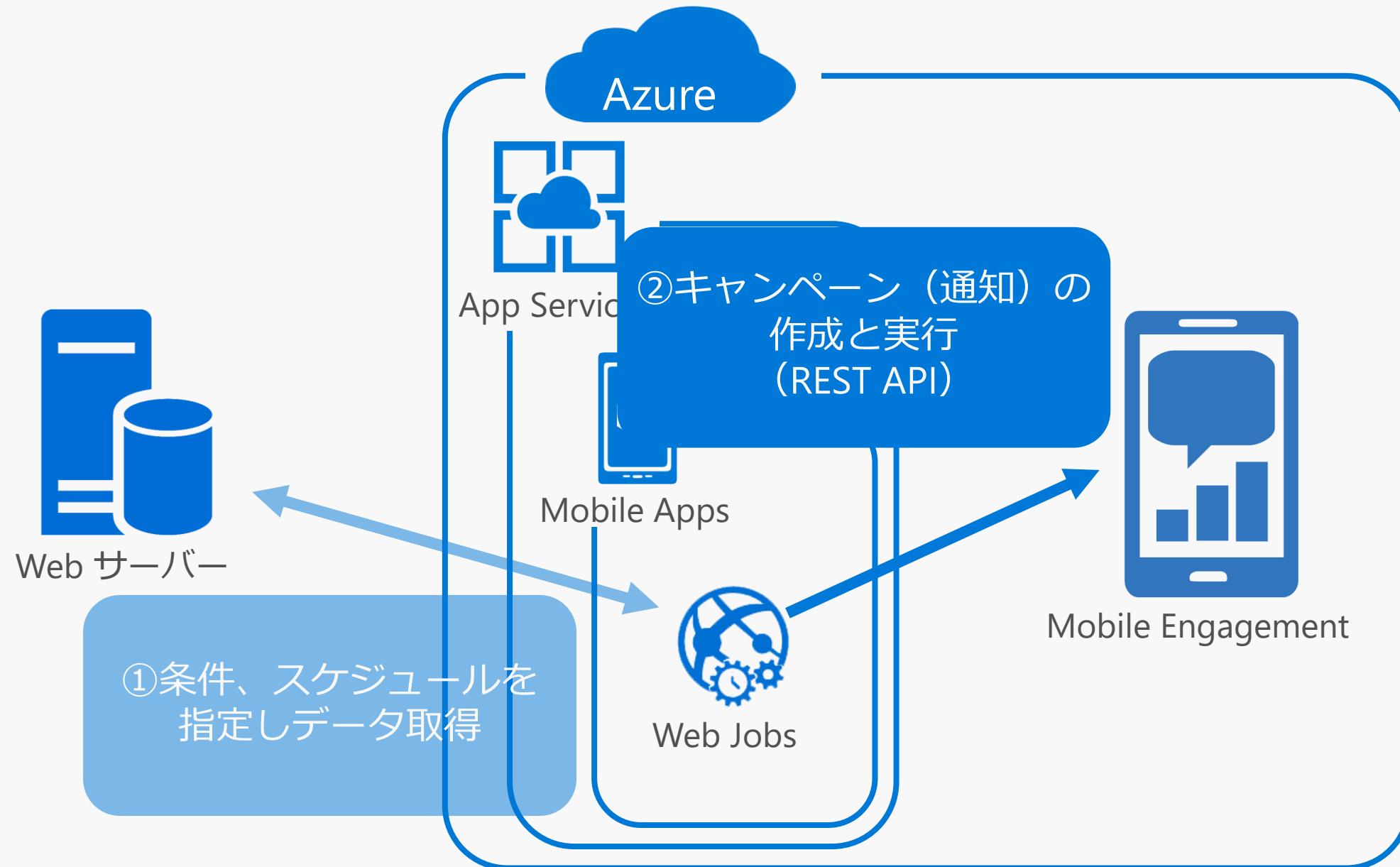


イベントアプリ Push 通知詳細



de:code

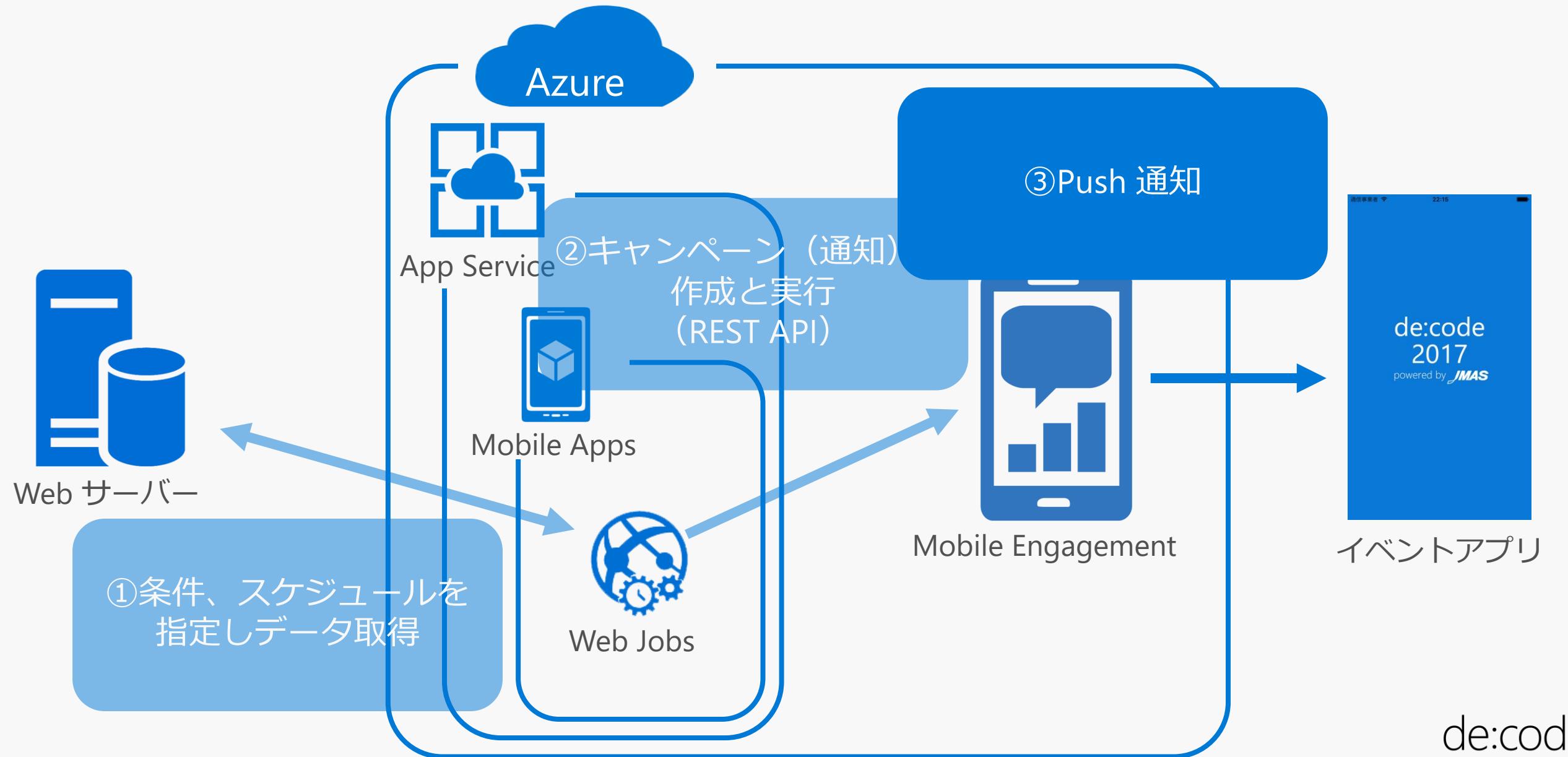
イベントアプリ Push 通知詳細



イベントアプリ

de:code

イベントアプリ Push 通知詳細



de:code

Demo

Azure Mobile Engagement

Mobile Engagement

アプリの使用率、ユーザーの継続率を増加

Mobile Engagement の詳細: [料金の詳細](#) [ドキュメント](#)

Azure Mobile Engagement サービスは停止となります、開発者がモバイル マーケティングに使用できるそのほかの強力かつ柔軟なサービスをご紹介します。

- [HockeyApp](#) クラッシュ レポートとユーザー メトリックスを、アプリ配布とユーザー フィードバックのプラットフォームに統合します。
- [Notification Hubs](#) アプリケーション開発者はターゲットを絞ったプッシュ通知を配信できます。
- [Visual Studio Mobile Center](#) モバイル アプリ管理戦略の要となる Visual Studio Mobile Center は、高度な分析、クラッシュ レポート、プッシュ通知、アプリ配布などを統合します。



Azure Mobile Engagement サービスは 2018 年 3 月に停止予定であり、現在は既存のお客様のみご利用いただけます。

re Mobile Engagement サービスは 2018 年 3 月に停止予定であり



Native Binding

Native Binding

- Android、iOS の Native ライブラリを Xamarin のアプリから呼び出せるようにする
 - https://developer.xamarin.com/guides/android/advanced_topics/binding-a-java-library/
 - https://developer.xamarin.com/guides/ios/advanced_topics/binding_objective-c/



Beacapp

Beacapp とは

アプリの Beacon 対応を簡単・迅速に実現し、現地でのユーザー体験を演出・効果測定できるクラウドサービスです。

Beacon 対応することで

GPS よりもさらに近距離・高精度の位置情報を利用することができます。



Beacapp を活用すると

新規開発、既存アプリの対応にかかる費用や期間を大幅に圧縮できます。コンテンツの変更反映も容易に可能。

- スピード導入・開発コストの抑制を実現
- リアルタイムな情報更新（アプリアップデート不要）
- マルチ OS・マルチビーコン対応

法人向け実績多数

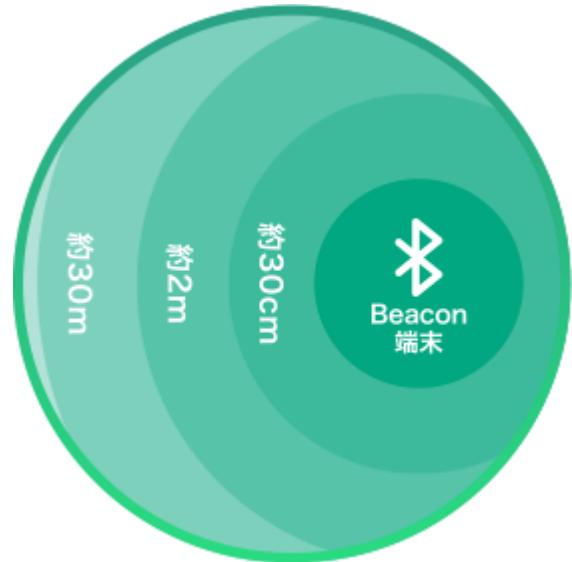
国内最大級の法人向けアプリ開発実績（100社、600アプリ以上）、特殊な法人ユースケースに最適な企画開発、運用をお手伝いします。

- 管理機能を搭載（ログ収集やビーコン・イベント管理など）
- ワンストップ（ビーコン端末の現地設置～ログ解析）
- 開発から運用まで柔軟なサポート体制

beaconとは



BLE を採用
iOS7.1以上、Android4.3以上の
対象機種で利用可能



ビーコン(Beacon)の距離
30cm/2m/30m の3段階の
距離を検知



ビーコン端末の種類
1台あたり1,500円～8,000円

Demo

Native Binding

Native Binding

- iOS
 - CocoaPods との相性はいまいちかも
 - ヘッダファイルだけで Objective Sharpie を実行するのがオススメ
 - 自動生成する関数名が同じになることもあるので、調整が必要
 - LinkerFlags を指定する
 - コンパイルオプションに[-ObjC]を付けないとダメな箇所も
- Android
 - 直接呼び出すクラスのjarのみembeddedjarとし、ライブラリ内部で使用するjarは embeddedreferencejar
 - C#の予約語とライブラリのメソッド名がバッティングした場合、Metadata.xml きメソッド名変換規則を記載して対応

まとめ

セッションゴール

- Xamarin.Forms でアプリを作るのは
そんなに難しくない
- Xamarin.Forms で 開発する時 の方法 / テクニック
- Xamarin.Forms の向き不向きを感じてもらう
- Xamarin.Forms で開発したくなる

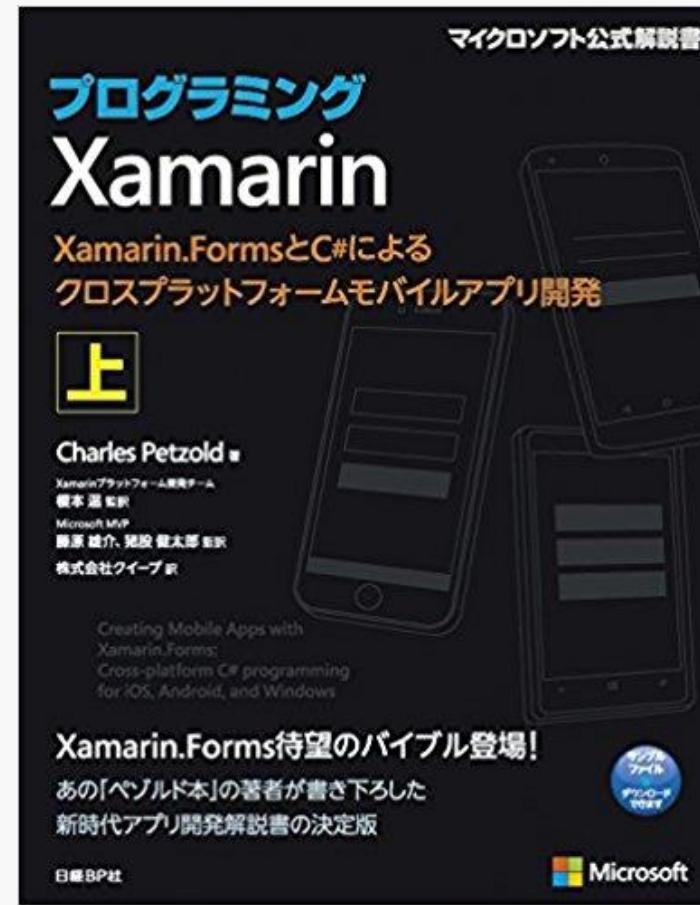
プログラミングXamarin 上 Xamarin.FormsとC#によるクロスプラットフォームモバイルアプリ開発

2017/6/5 発売
696 ページ

de:code 会場にて先行販売！

¥ 6,480

⇒ ¥ 5,800 !



de:code

ユーザーグループへ参加しよう！



JAPAN
XAMARIN
USER
GROUP

#JXUG で Twitter で
つぶやくと誰かしら
反応してくれます！

<http://jxug.org/>

MW08

アンケートにご協力ください。

■アプリのメニューから

アンケート ⇒ 「de:code イベントアプリの作り方」を選択して、回答・送信をお願いします。

ROOM D

Ask the Speaker のご案内

本セッションの詳細は、コミュニケーション
ルーム『Ask the Speaker』コーナー Room D
カウンタにてご説明させていただきます。
是非、お立ち寄りください。



© 2017 Microsoft Corporation. All rights reserved.

本情報の内容（添付文書、リンク先などを含む）は、作成日時点でのものであり、予告なく変更される場合があります。

de:code